

「DRPの終焉」に言及 | IAAE 第20回記念フォーラムに磯部理事長が登場



DRPの終焉

これまで業界の

「混迷」を収めた四半世紀と、これからの自動車アフターマーケットの業界構造の変遷を正しく捉えるために」と題した本セミナーは、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症拡大による開催延期などもありながらも今回で第20回を迎えた国際オートアフターマーケットEXPOの開催を記念して、時代を切り開いてきた先駆者達に約四半世紀にわたる業界の変遷や、今後の展望についてお話し頂くことで、時代の節目を正しく捉え、次代にむけた体制を作っていくためのヒントとなることを想い企画されました。

BSサミットの 変遷と成果

2003年3月8日(水)、東京ビッグサイト西3・4ホールで開催された「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023」の併催企画、第20回記念フォーラムに、全日本ロータス同友会相談役・株式会社TMコーポレーション代表取締役社長 室谷真一氏、株式会社オートバックスセブン相談役・オートアフターマーケット活性化連合代表住野公一氏と共にBSサミット事業協同組合の磯部君男理事長が登場しました。



左から、BSサミット事業協同組合の磯部君男理事長、全日本ロータス同友会 相談役・株式会社TMコーポレーション 代表取締役社長 室谷真一氏、株式会社オートバックスセブン 相談役・オートアフターマーケット活性化連合 代表 住野公一氏

セミナー冒頭で磯部理事長は、BSサミットの変遷について、RSサミット21研究会を発足し、ABサミット21研究会に名称変更した時から順を追って説明されました。中でも、2013年に韓国・DRP制度導入への支援についてや、2016年にテュフ監修「エクセレント車体整備工場」認定制度、同じく2016年に安全な自動車の車体を確保する議員連盟の発足などBSサミットがこれまで業界の

活性化のために先陣を切って行った活動について掘り下げて説明が行われました。また、同議員連盟の活動によりまさに現在、これまでなかなか進展しなかった車体整備事業者と損害保険会社各社の価格交渉について、新たな展開を迎えていることの報告を行いました。

生み出され、変化してきた ビジネスモデル

「話は、各社・団体が作り上げてきたシステムについて進みます。オートバックスセブンであれば「カー用品ショップ」、TMコーポレーションでは「24時間365日の自動車整備」、そしてBSサミットというところから「日本版DRP」の創設です。1988年にアメリカへ視察訪問した時から、三者間利益(お客様、損害保険会社、組合員工場)を追求した日本版DRP制度の構築まで、その過程について説明されました。日本版とあるように、当時アメリカにあったDRPシステムをそのまま日本へ持ち込んだ訳ではなく、日本とアメリカでは大きく2つの商習慣の違いがあったため、時間をかけて保険会社と協議を重ねソフトウェア開発を自指しました。一つは、日本では保険の販売をディーラーや整備工場が行っていることであり、このことが工場の質ではなく保険獲得件数とのバスターになりやすい構造を生んでしまっています。もう一つが、指数の作り方であり、アメリカをはじめとする諸外国では自動車メーカーや修理団体の代表者、保険会社が集い指数のテーブルを作り上げていくのに対し、日本においては保険会社が株主を務める自研センターが指数のテーブルを作っており、その方法についてはオープンになっていないことと言います。これらことから日本でDRPを定着させることの難しさに言及されました。

今後の自動車 アフターマーケット

セミナーは最後のまとめ、今後の自動車アフターマーケットの展望についてへと進みました。全日本ロータス同友会の相談役である室谷氏は「自動車アフターマーケットは対メーカー軸に対して一つにならないといけない。BSサミットとロータスが一括になるくらいは危機感を持ってやらなければダメだ」と叱咤激励されました。そして磯部理事長は「近い将来に損害保険会社とこれまで築き上げてきた日本版DRPは終焉を迎える。そして今後は、自動車メーカーが主体となった、新たなDRP」が台頭してくるだろう」ときたるべき将来について言及されました。今後増えることが予想される自動運転レベル3(限定領域における条件付き自動運転)の車両を整備することができる工場になるためには、現在取得している特定整備認定の看板から「自動運行装置を除く」という文言を外す必要があり、それには自動車メーカーからの認定が必要であることに触れ、BSサミットは自動車メーカーとの提携を念頭にモビリティサービスの全国ネットワーク構築を進める方針であるとまとめました。

「第20回 国際オートアフターマーケットEXPO2023」にBSサミットブースを出展

BSサミット事業協同組合は、3月7～9日に開催された自動車アフターマーケットの展示会「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023 (IAAE2023)」にBSサミットブースを出展。3日間の来場登録者数合計14,155人と大盛況にて終えたイベントにおいて、当組合の取り組みを業界関係者に広く知っていただくため、また組合の趣旨・活動に賛同する新組合員の募集をするための活動として、来場者にBSサミットの理念をお伝えしました。



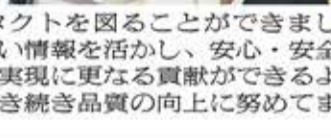
BSサミットは今年1月の新春賀詞交歓会にて「モビリティサービスの全国ネットワーク構築」を目指し入会基準を見直し、対象を従来の車体整備工場から指定整備工場にまで拡大することを発表致しました。そして今回のIAAE2023では、その第一歩としてBSサミットブースでのPR活動、他団体・企業への協力依頼、出展者プレゼンテーション及び組合員募集説明会の開催(4面参照)など多岐に渡る活動を行いました。

協賛会社様も出展、 最新の修理機器などが勢揃い

BSサミットブースには、株式会社あかつき、アクサルタコーティングシステムズ合同会社、アクゾノーベルコーティング株式会社、株式会社EBE、株式会社イヤサカ、株式会社栄和製作所、株式会社オルタライフ、株式会社ケンテックス、株式会社ダイレクトオーダーといった協賛会社様

による展示も行われました。BSサミットは、想像を超えるハイテク技術が搭載された自動車が登場しても、法令を遵守した上で、しっかり整備・修理できる組織を目指しております。そのためにも協賛会社様とは今後も活発な意見交換を行い、共に歩みを進めてまいります。

今回のIAAEは、来場者がコロナ前の数字に戻りつつあり、非常に活発に業界関係者とコンタクトを図ることができました。ここで得た幅広い情報を活かし、安心・安全なモビリティ社会の実現に更なる貢献ができるよう、組合員一同、引き続き品質の向上に努めてまいります。



クラウド型自動車钣金業務支援システム



らくらく導入、かんたん操作

『日常業務の効率化』をサポート!



いつでも、どこでも システムを使いたい!

と思ったことはありませんか?

ブロードリーフのクラウドは

すぐに使えて、場所、端末に依存しない、

新しい働き方を実現します。

必要な機能を必要な分だけ導入可能、

組み合わせは自由自在です。

詳細はQRコードを読み込んでください



株式会社ブロードリーフ



IAEセミナーレポート 自動車アフターマーケットの「今」を掴むためのセミナーが開催

今回のIAE2023では、例年同様、自動車アフターマーケットの「今」を掴むためのセミナーや実演が多く開催されました。2~3面では、BSサミット事業協同組合から藤野利浩副理事長が登壇した「オートアフターマーケットサミット2023」や国土交通省、経済産業省による行政セミナーの詳細などをお伝えします。



登壇者：左から、BSサミット事業協同組合副理事長、藤野利浩副理事長、アフターマーケットサミット実行委員会委員長、中村秀隆、代表幹事、自動車用品小売業協会代表幹事、喜夫巳会長、日本自動車購入協会 井上貴之代表理事、リビルド工業会全国連合会 深澤広司会長

業界の垣根を超えた横断的な議論が展開
会期3日目の3月9日(木)に行われたのは、激変する自動車アフターマーケット業界を俯瞰し、それぞれの業界の立場から今後の展望が語られる「オートアフターマーケットサミット2023」。車体整備業界から当組合の藤野副理事長を始め、各業界を代表する4名の皆様が登壇。業界の現状と課題を共有しつつ、業界の垣根を越えた議論も行われ、聴講者に今後の展開のヒントや考え方の方向性が示されました。

法改正やルールの変化が続く中で求められる対応が、自動車アフターマーケットの「今」を語るにあたり、各業界を代表する登壇者が、自動車アフターマーケットの「今」を語るにあたり、



BSサミットの代表として登壇した藤野副理事長

は重たいという中で、既存の整備事業者を誘った上で、展開することが想像できます。その中でEVメーカーは、ロードサービスや钣金・修理など二気通貫でできることを求めているという印象があります。様々な課題はありますが、求められるレベルに向けてしっかりと対応していかなくてはならないと感じています。と述べられ、EV普及による今後の変化への対応の重要性を示されました。

「ルールの変化」については、車検証の電子化、特定期間、インボイス制度、中古車の総額表示など、挙げればきりがないほどの変化が述べられる中で、ルール違反の話題として挙げられたのが、ビッグモーターによる保険不正問題。藤野副理事長はこの問題に「対し」という問題がある」と業界が十把一絡げで悪いイメージに見られてしまっています。BSサミットとして、コンプライアンスはこれまで最優先事項として遵守してきているので迷惑な問題ですが、組織として当たり前のルールを守ってきたことが評価され、この問題が起きた際に、他のB業者よりも組合員工場が入庫が増えました。これからは変わらざる当たり前のルールをしっかりと守りながら、お客様の役に立ちたいと考えています」と言及されました。

業界構造の変化の顕在化と今後の展望

後半は「業界構造の変化」は閉幕しました。

社会とクルマが変わる中で求められる自動車アフターマーケットの変革

オートアフターマーケットサミット2023

「整備業界を取り巻く状況」とその対応」というテーマで、藤野副理事長は最新のDRPは間違いなくBSサミットが創り上げてきたという自信はありますが、いつの間にか保険会社の営業ツールになってしまった感も否めません。そこでBSサミットとしては、保険会社と組むDRPは最終である、という立ち位置で、物事を考えていくという中で、今年度の賞詞交歓会で「車体整備業」から「モビリティサービス業」に変わると高らかに宣言しました。これだけの変化の中で、自社だけで全てを完結することは難しく、生き残るために何が出来るかを考えた結果が、モビリティサービス業への転換でした。まずは我々が先頭に立ち、自動車メーカーに認められる整備事業者になるべく研鑽を続けたいと考えています。皆様の強い決意を持って、大変革の時代に立ち向かって頂き、壁を一緒に乗り越えていきたいと思います」と力強いメッセージを発信し、熱気溢れたサミットは閉幕しました。

国土交通省 経済産業省 各省市が考える自動車業界の状況と環境変化

国土交通省 経済産業省



国土交通省自動車局整備課 竹村圭史氏

会期初日の3月7日(火)には、国土交通省、経済産業省などをはじめとする行政セミナーが開催されました。「整備業界を取り巻く状況」とその対応」というテーマで、藤野副理事長は最新のDRPは間違いなくBSサミットが創り上げてきたという自信はありますが、いつの間にか保険会社の営業ツールになってしまった感も否めません。そこでBSサミットとしては、保険会社と組むDRPは最終である、という立ち位置で、物事を考えていくという中で、今年度の賞詞交歓会で「車体整備業」から「モビリティサービス業」に変わると高らかに宣言しました。これだけの変化の中で、自社だけで全てを完結することは難しく、生き残るために何が出来るかを考えた結果が、モビリティサービス業への転換でした。まずは我々が先頭に立ち、自動車メーカーに認められる整備事業者になるべく研鑽を続けたいと考えています。皆様の強い決意を持って、大変革の時代に立ち向かって頂き、壁を一緒に乗り越えていきたいと思います」と力強いメッセージを発信し、熱気溢れたサミットは閉幕しました。

「整備業界を取り巻く状況」とその対応」というテーマで、藤野副理事長は最新のDRPは間違いなくBSサミットが創り上げてきたという自信はありますが、いつの間にか保険会社の営業ツールになってしまった感も否めません。そこでBSサミットとしては、保険会社と組むDRPは最終である、という立ち位置で、物事を考えていくという中で、今年度の賞詞交歓会で「車体整備業」から「モビリティサービス業」に変わると高らかに宣言しました。これだけの変化の中で、自社だけで全てを完結することは難しく、生き残るために何が出来るかを考えた結果が、モビリティサービス業への転換でした。まずは我々が先頭に立ち、自動車メーカーに認められる整備事業者になるべく研鑽を続けたいと考えています。皆様の強い決意を持って、大変革の時代に立ち向かって頂き、壁を一緒に乗り越えていきたいと思います」と力強いメッセージを発信し、熱気溢れたサミットは閉幕しました。



経済産業省製造局自動車課 小島晋之介氏

「自動車ユーザーの保守管理の徹底」については、車検時の確認方法の見直しや事業再構築補助金、今年1月からスタートした車検証の電子化などが紹介されました。また今年1月からは自動車重量税、検査登録手数料、技術情報管理手数料(OBD手数料)を含めたクレジットカードによる一括決済が導入されたことも補足されました。

「新たなモビリティの可能性」については、異業種連携やスタートアップ企業による新たなプレーヤーの具体例を挙げながら、新しいモビリティ社会に繋がる取り組みの一端に触れ、投資決断の大前提となる国内自動車市場の活性化に加え、業種の垣根を超え、骨太な政策を推進していく必要性を説かれました。

問1 次の空欄を埋めて式を完成させよ。

CO₂の少ない移動 = SMA × パートナー × モビリティ

サステナブルな社会。それはお客さま、パートナーとともに描く未来です。

次世代自動車に対応するモビリティドクター全国ネットワーク構築に向けて 入会基準の対象を車体整備工場から指定整備工場まで拡大

BSサミットは2024年を目途に、組合員数を現状の323社から700社に増やすことで「モビリティドクターの全国ネットワーク構築」を目指します。そのため、入会基準の対象を車体整備工場から指定整備工場に拡大しました。具体的な施策として、3月7日～9日に東京ビッグサイトで

開催された「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023 (IAAE2023)」の会場にて「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」と題した出展者プレゼンテーション及び、組合員募集説明会を開催。広く業界内に向けてアピールを行いました。

「自動車メーカーに認められる」の真意を説明 「自動車メーカーへの近道」セミナーを開催

車体整備からモビリティサービスへの真意を説明

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

セミナー冒頭、進行を務



める黒木専務理事から、なぜ自動車メーカーに認められる協力工場になることが重要なのか？について、次世代車の普及によりメーカーからの技術情報を取得できなければ整備自体でなくなる。近い将来への備え、自動運行装置車両の認証を取得するための必要条件、新興輸入車メーカーから整備及び钣金業務を受注するビジネスチャンスの創出などが挙げられる、と説明がありました。

一方、自動車メーカー側の視点で見た時の協力工場の必要性についても、EVや自動運転車の普及による産業構造と収益構造の変化や、整備士不足に対する労働基準法の遵守、安全確保の観点から純正部品の普及促進など、従来の延長線上では解決が難しい課題があることから予測できると、坂井組合員拡充委員長から説明がありました。



左から、増田洋一副理事長、石井英幸副理事長、藤野利浩副理事長



黒木康男専務理事（左）、坂井光蔵組合員拡充委員長

最後に藤野副理事長は、これまでの話を踏まえた上で、事故が減少し事業環境が変化していくなかで、企業環境の変化に適切に対応しなければならぬと、従来のボディショップ経営からモビリティサービスに守備範囲を広げた経緯を説明し、BSサミットが目指していることを明らかにしました。

本セミナーのタイトルの通り、BSサミットに入ることで、自動車メーカーに認められる整備事業者への近道になれるよう組合員一丸となって準備を進めており、新たな仲間を迎え入れることで更なる飛躍を目指してまいります。

IAAE2023会期中の3日間計5回、東京ビッグサイトの会議室にてBSサミット組合員募集説明会を開催いたしました。今年1月の新春賀詞交歓会で、磯部理事長から発表があった通り、BSサミットは入会基準の対象を指定工場まで拡大し、2024年を目途に組合員数を700社に増やすことを計画しています。これは出展者プレゼンテーションでも発表があった通り、BSサミットは入会基準の対象を指定工場まで拡大し、2024年を目途に組合員数を700社に増やすことを計画しています。

IAAE2023会期中の3日間計5回、東京ビッグサイトの会議室にてBSサミット組合員募集説明会を開催いたしました。今年1月の新春賀詞交歓会で、磯部理事長から発表があった通り、BSサミットは入会基準の対象を指定工場まで拡大し、2024年を目途に組合員数を700社に増やすことを計画しています。

その後、入会後の流れについてや、費用について、入会基準についてなど具体的な説明、さらには質疑応答を行い、説明会を終えましたが、次世代自動車時代の生き残り策の第一歩はBSサミット加盟からです。我々と一緒にメーカーに認められる工場を目指しましょう。

BSサミットは未来を見ている。
BSサミットは現状に甘んじません。
BSサミットは厳しいです。
だから
BSサミットは勝ち残ります！

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

組合員拡充委員会 活動報告



IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中に 来場者向けの 組合員募集説明会を開催

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

IAAE2023会期中の13時から、出展者プレゼンテーション「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」を開催し、100年に一度の大変革期に對し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」は何を思い、どう対応していくのか？そして、車体整備からモビリティサービスへの転換、を掲げ

次世代自動車研究委員会 活動報告

技術研修動画の配信開始

「コンプライアンス遵守と正しい修理の未来」



本研修では、まずコンプライアンスの観点から、電子制御装置...

①電子制御装置整備の作業場について

研修には千葉支部 株式会社車検・钣金デポの上松禎知社長を講師に迎え、ゲストには香川・徳島支部 浦車体整備工場有限会社...

②現在の修理内容と整備要領書の関係

対象外の車両であれば問題ありませんが、対象車の場合は電子制御装置点検整備作業場で行わなければならないと、これまで...

③自社対応領域と連携

今回の研修を通じてまずは、コンプライアンスを守るためには正しい知識を身につけていなければならない、ということを感じ...

ながら意外と見落とされがちな部分であり、指定整備工場の場合には整備要領書から検査ラインを電子制御装置点検整備作業場として申請するように案内されているケースもある...

さらに、車体整備を行う事業者においてエミューは前方だけでなく、現状回復の原則原則においては機能回復も含まれており、プラインドスポットモニター、アラウンドビューモニター、パノラミックビューモニター、全方位モニター、ウルトラソニックセンサー、ソナーセンサーなどを搭載した車両...

今回の研修を通じてまずは、コンプライアンスを守るためには正しい知識を身につけていなければならない、ということを感じ...

3-1: 自社対応領域と連携

- 電子制御装置整備作業を自社で対応するには?
特定整備認定の取得は当然ですが、フロントでの対応力、ファイネスの検索力・読み解き力、作業可能な環境、整備スキル、ADAS機器の仕組み知識など、ありとあらゆる新たな準備や勉強が必要です。

1-2: 電子制御装置整備の作業場について



作業には該当しないが自動車メーカーの定める修理書に記載された機能回復のために行うべきではあるが、実施するかはユーザーに選択権がある作業について説明がありました。実際に、スバルの整備要領書には「軽衝突でもステレオカメラの軸ずれが発生する可能性があるため、アイサイト警告灯が点灯またはマルチインフォメーションディスプレイに「カメラ一時停止」を表示していても、ステレオカメラの調整を行うこと」と記載(スズキも同様)されている...

域と連携)についてお話し頂きました。まず、電子制御装置整備関連作業を自社で対応するには、特定整備認定の取得は当然ですが、フロントでの対応力、ファイネスの検索力・読み解き力、作業可能な環境、整備スキル、ADAS機器の仕組みや知識など、ありとあらゆる新たな準備や勉強が必要で...



上から、講師を務めた株式会社車検・钣金デポ 代表取締役 熊本匡史氏(千葉支部)、次世代自動車研究委員会 浦車体整備工場有限会社 代表取締役 浦彰彦氏(香川・徳島支部)、次世代自動車研究委員会、深沢钣金塗装株式会社 取締役 深沢勇希氏(静岡支部)、株式会社光陽オート 取締役部長 春木克之氏(千葉支部)

二世会 活動報告

二世会セミナーを開催 石井副理事長に聞く「自動車アフターマーケットの未来」

3月9日(木)、二世会セミナーが是非ともBSサミット本部役員の方のIAAE 2023会場の会議室を借りて開催されました。今回のセミナーは、BSサミット副理事長を務める石井副理事長に、今こそ、チエス部の石井副理事長を招き、BSサミットの活動状況をはじめ、同社の認定整備工場としてIAAEのセミナーなど色んなお声掛けを頂けるようになったが、そこまでの道程は決断してはなかったが、具体的な事例を交えて情報提供いただきました。



若松二世会会長は「コロナの影響で支部会ですらオンラインの地域もあり、なかなか本部の動きをダイレクトに聞ける場所が限られていた。講演後には参加者から積極的に質問が上がり、予定時間をあつというからモヒリティサ間を迎えた本会は、二世会メンバーに逸げていくために。」

損害保険会社と自動車整備事業者の双方が納得できる適正な内容であるべき



3月9日(木)の参議院予算委員会にて、公明党の西田実仁参議院議員(安全な自動車の車体を確保する議員連盟 副会長)は、中小企業の賃上げに対する質疑の中で損害保険会社と自動車整備工場の取引について、修理時間の基準は、た交渉を言い出せない構造になっている。労務費や工賃の適正化を促すよう促すお

業界動向 ニュース

3月9日(木)、二世会セミナーが是非ともBSサミット本部役員の方のIAAE 2023会場の会議室を借りて開催されました。今回のセミナーは、BSサミット副理事長を務める石井副理事長に、今こそ、チエス部の石井副理事長を招き、BSサミットの活動状況をはじめ、同社の認定整備工場としてIAAEのセミナーなど色んなお声掛けを頂けるようになったが、そこまでの道程は決断してはなかったが、具体的な事例を交えて情報提供いただきました。

Advertisement for DENGEN equipment including air conditioning units, chargers, and welding machines. Text: "明日をひらく" デンゲンの技術. Includes QR code and website information.

Advertisement for 3M PPS spray guns. Text: "さらなる塗装の進化を その手で体感." Includes product images and contact information for SRIEEM JAPAN Co., Ltd.

EV専用プラットフォーム
で損傷診断に影響

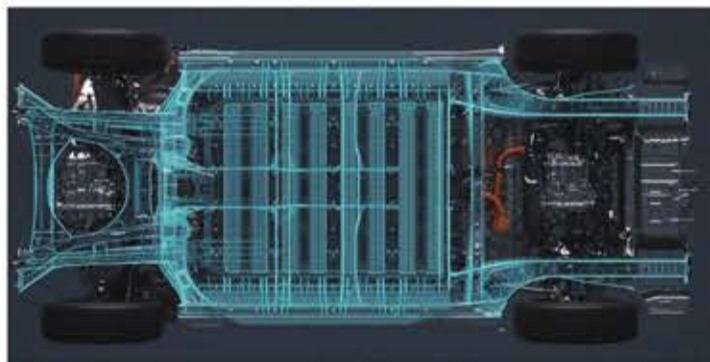
前号では電気自動車(EV)入庫作業時の心得と留意点をお伝えしました。事故時の現場作業からレッカー時、そして入庫時と作業時に至る留意点などです。さて今回はEV特有の構造を検証しながら、それに伴う車体整備への影響と留意点についてお伝えします。

EVは内燃機関を持たないために、そのぶん部品やユニットの点数が少ない特徴をもっています。このため、従来のクルマと異なる自由な部品レイアウトを可能にしています。また、既存のハイブリッド車と異なり、より容量の大きい駆動用バッテリーを積載する必要があり、自動車メーカーではEV専用のプラットフォームを開発しています。このような新たなクルマづくりにより、クルマの構造は劇的に変化しています。



トヨタのEV、bZ4Xのプラットフォームとボディ。プラットフォームはスバルと共同開発したEV専用の「e-TNGA」を採用。(出典:トヨタ自動車)

EV特有のプラットフォームでは、モジュール化されたリチウムイオン電池は車両床下に敷き詰められ、従来はインストルメントパネル奥に設置されていたエアコンのプロワーユニットはモータールームに移設されるケースが増えました。それに伴い、近年のEVはホイールベースが大幅に拡大しました。こうしたプラットフォームの変化は、事故時における衝撃吸収のプロセスに変化を与えています。バッテリーシステムなどの安全性を考慮して衝撃吸収のシステムを設けるプラットフォームが増加しているとともに、ホットスタンプ材を積極的に使用するなど、衝撃吸収は骨格部分から見直しが進められています。こうした流れは車体整備の損傷診断にも影響を与え、ボディアライメント測定器などを用いた繊細な診断が求められます。



EV専用プラットフォーム「e-TNGA」は床下の電池パックを保護するため、衝突時の入力荷重を複数の骨格に分散させる構造を採用。(出典:トヨタ自動車)

駆動用バッテリーの
温度管理について

EVの開発で、自動車メーカーが特に注目しているのが駆動用バッテリーの温度管理です。電池が高温に晒された場合、電池の寿命が低下する懸念があり、近年発売される国産EVでは様々な冷却システムがバッテリーシステムに搭載されるようになりました。例えば、トヨタ・bZ4X(スバル・ソルテラ)はバッテリーパック下部に水冷式の冷却システムを装備、専用クーラントで温度管理を行っています。一方、昨年発売された軽乗用車EVの日産・サクラ(三菱・eKクロスEV)は冷媒式の冷却システムを導入しています。このようにリチウムイオン電池の温度管理は走行性能や航続距離をはじめ、駆動用バッテリーの耐用年数のカギを握る重要なファクターとして重要視されるようになりました。



日産・サクラのリチウムイオン電池パック。バッテリーの冷却に冷媒式を採用。(出典:日産自動車)

塗装ブースの乾燥作業で
バッテリー劣化の可能性

このような特性を持つ、駆動用バッテリーは車体整備の場面でも注意が必要です。特にクルマを高温に晒す塗装作業では注意が必要です。以下は日産・リーフの「交通事故に関する注意」にある一文です。

この車両(編集部注:日産・リーフ)に板金・塗装による修理が必要な場合は、リチウムイオンバッテリーパック及び高電圧部品(インバーター、ワイヤーハーネスなど)を取り外してから作業する必要があります。特にリチウムイオンバッテリーパックが損傷しているときなどは、自動車の整備に関する知識がないと重大な傷害を受けるおそれがあります。また、塗装ブースでリチウムイオンバッテリーパックが高温にさらされると、バッテリーの性能が低下するおそれがあります。

上記の留意点では、塗装時における具体的な対策について言及することはありませんが、近年発売された国産EVでは駆動用バッテリーのマネジメントについてはかなりシビアになりつつあります。とりわけ、駆動用バッテリーの保証は多くの自動車メーカーが採用するようになりました。例えば、トヨタ・bZ4Xの場合、10年20万km以内で駆動用バッテリーに不具合が生じた場合、無償でバッテリー修理を実施するほか、新車時と比べて充電量が70%以下となった場合には無償でバッテリー交換を行う旨を定めています。今後、駆動用バッテリーの温度管理はさらに重要になってくることが考えられます。車体整備にもそうした影響が出てくる可能性があり、自動車メーカーが車体整備に求める要素のひとつになるかもしれません。

エーミング作業支援 iPadアプリ 楽々エーミング

楽々エーミングは(株)シイエム・シーの登録商標です。©登録第6559349号

エーミング用ターゲットの設置位置の計測と設置時間をiPadを使って短縮
新機能 ペンレスモードを新たに追加

※iPadは付属しません。



モードは任意で切り替え可能になりました。操作についての説明動画がございます...

エーミング用スタンドセット ITS-01-8ET

※オプション

楽々エーミングとエーミング用スタンドの併用で、さらに効率UP!

エーミング作業の前にはホイール・ボディアライメント作業が必要です



CAR-O-LINER®
ボディもダメージも選ばない

カートロニック・ピジョン2 X2/X3

業界最多:約17,000種もの車両データを収録、あらゆる事故車に対応した究極のボディアライメントシステム

HUNTER
ホイールアライメントの新時代を切り拓く

ホークアイエリート WA670

最新鋭のカメラシステムは精緻でスピーディな作業を実現! 高い信頼と生産性を約束します



月別リサイクルパーツ別実績 2023年1月~2023年2月(全国)

※その他「エンジン・ミッション・ラジエター・コンデenser・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイクルパーツ(新品パーツは除く)」

内 訳	2023年		合 計
	1月	2月	
	数 量	数 量	数 量
フロントバンパー	392	366	758
リアバンパー	230	210	440
ヘッドライト	549	498	1,047
ボンネット	170	163	333
フェンダー	421	381	802
ドア	544	590	1,134
トランクリッド・リアゲート	169	190	359
テールランプ	314	333	647
その他*	2,443	2,517	4,960
合計	5,232	5,248	10,480

BSサミット 販売促進委員会

リサイクルパーツ普及拡大に向けて 車齢の延伸によりリビルトパーツに注目が集まる

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお祈りします。

自動車アフターマーケットにおけるリユースの推進において重要な位置に占めるリサイクルパーツとリビルトパーツ。これらは同じ物のように扱われることも少なくないですが、そもそもの発生源が異なるものです。リサイクルパーツは主に廃車の解体過程を主な発生源としますが、リビルトパーツはディーラーや整備工場から故障・劣化した部品を「コア」として回収することが一般的です。つまり事故が減少を続け、車両の平均使用年数が長くなってきている近年においては、外板などリサイクルパーツよりも機能部品のリビルトパーツの需要が増えることが想定されます。実際に今年のIAAEにおいても多くのリビルトパーツが出展されており来場者の注目を集めていました。時代の流れを考慮して適切な提案をユーザーに行うことが重要なのではないのでしょうか。

ストップ! 粗悪修理!!

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

不完全修理例① エンジンルーム骨格パネルが過去の事故で変形したまま、錆も発生!

エンジン不調で入庫。スキャンツールにはO₂センサー不具合コードが表示されていた。外観チェックをした結果、フードパネルとフロントフェンダーとの隙間不良があり、確認のため、フロントフェンダーを取り外したところ、エンジンルーム骨格パネルが過去の事故で変形したままの状態でも錆も発生していた。走行時にボディーから異音(ガタガタ音)も聞こえていたとの申し出があった。外観からは見えない部位の修理がされていない粗悪修理事例。



不完全修理例② 後輪取付け部位の車体精度がずれたままアライメント不良!

お客様より、車が真っ直ぐ走らずタイヤも片減りするとの事で入庫。診断すると、リアフェンダーを交換した跡があり、過去の修理作業で隣接部位のリアフロアーの歪みを修理しないまま、リアサイドメンバーを取替していた。その結果、後輪取付け部位の車体精度がずれたままアライメント不良となっていることが判明した。このような理由により、ハンドルは真っ直ぐになっても車が真っ直ぐ走らない状態のままになっていた。



この様な不具合車両をなくすために、皆様からの情報提供をお待ちしております。

合計1,000名様に当たる!

NGP 春の大感謝 キャンペーン

NGP リユース部品に貼ってあるキャンペーンシールを集めて応募しよう!
3枚1口

Amazon JCBギフト券

1等	1000枚	30万円分
2等	100枚	3万円分
3等	10枚	3,000円分

さらさら! キャンペーン応募者の中から抽選で 300社様 豊島オリブセット NGP環境貢献書 3,000円相当

カーボンニュートラル・SDGsの取組推進サービスを行っています。

自動車リサイクル部品 環境貢献書

NGPリユース部品でCO₂削減貢献

リユース部品をご利用いただくことで、CO₂削減に貢献できます。当活動を通じてCO₂削減を実現する。貴社の環境貢献をPRしてまいります。

CO₂削減貢献を環境貢献書として発行

さらなるCS向上へ向けた
リサイクルパーツの提案。

Recparts Direct System
リパーツダイレクトシステム (RDS)

皆様へ、安心して「リパーツダイレクトシステム」をご利用いただけるよう「BSネットワークコールセンター」の専任スタッフがお客様にご発注いただいたパーツの適合確認をさせていただきます。正確な部品発注をサポートしております。

自動車リサイクル部品のお問い合わせは

BSネットワークコールセンター

Tel.052-441-7503 (平日9:00~18:00) Fax.052-441-7628

SDGs宣言 人と車と地球にやさしく自動車リサイクル事業を通して、子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年目標

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP
〒208-0074 東京都豊島区高輪 3-25-33 高輪ビル2階 TEL:03-5475-1208

2023年 4/1 ~ 6/30

詳しくはこちら

私たちは自動車リサイクル部品の活用で未来の地球を考えています。

Recycle & Repair BIG WAVE

JARA

株式会社ビッグウェーブ・株式会社JARAは連携し合い、常に最高品質の自動車リサイクル部品の生産と販売に取り組んでいます。

組合員訪問



関東甲信越ブロック 茨城支部 新和自動車工業株式会社

「広く、浅く、バランスよく」

多くの社員を抱えるからこそそのリスクヘッジ戦略

創業以来60年、

地域のユーザーを縁の下で

支えてきた老舗工場



尾又泰雅 代表取締役社長



水戸市河和田町にある本社

茨城県の県庁所在地で、中央地域に位置する水戸市の水戸駅周辺には大型商業施設や商店が軒を連ねる一方、日本三名園のひとつとして名高い「偕楽園」など自然も多く、都市生活と豊かな緑が調和したとても住みやすい街として知られています。今回訪問した新和自動車工業株式会社は、偕楽園の程近く水戸市河和田町で钣金塗装を中心とした事業を営んでいます。同社の創業は古く、今から60年以上前の1963年に、現社長(尾又泰雅氏)の祖父ヤマトアール内に電装

100%下請けからの脱却としてBSサミットへ

部の出張所を置き、新車購入時のオプション用品(当時はエアコンもオプション扱いだった)の取付作業を行っていた。カーディーラーとの繋がりを深めてきました。創業から60年が経ち二カ体制を築いています。



2台の修正機を導入し事故車の修理にしっかり対応できる設備と技術がある



まるでカフェのような「つくば店」の外観



つくば店の工場には修正機他、4輪アライメントテスターも完備



ゆっくりと寛いで待てるお客様スペース

フロントの対応力に強み

新和自動車工業の強みにはないかと謙遜しながらも、フロント力・対応力の部分で他社より優位に立っているのだと思うと冷静に分析



車検・整備の拠点「アナハイム店」

その後、2012年には茨城県南部をカバーする新たな钣金塗装の拠点として「つくば店」をオープン、2017年には水戸市に車検・整備を行う拠点

次世代自動車への対応

特定整備認定を取得し、スズキ車を中心にエーミンが共同で利用する設備・機器の導入・更新を行なっており、その活用すること

学童軟式野球大会

主催で地域貢献

また同社の特徴的な活動の一つに、地元学童軟式野球大会「シンワ杯」の主催があります。本大会は2012年から同じ水戸市にある有限会社伸和商事と共催で立ち上げたもので、尾又社長のご子息が野球をやっていたこともあり地域貢献の一環として2021年までに9回の開催を行っています。

自動車の進化に伴う様々な法改正

自動運転やADASをはじめとした先進技術の実用化に向けて、政府主導で自動運転技術や運転支援技術の普及が進められていますが、今後も様々な法改正が予定されています。2024年からのOBD車検開始に向けたこの期間は、まさに100年に一度の大変革期といえ、整備事業者にも求められるハードルは益々上がりがつつあります。BSサミットは、日本の車体整備業界のリーディング組織として、時代の潮流を読み様々な難局を乗り越えるべく、常に先を見据えた取り組みを行っております。



Revolution starts here! 100-year transformation period. Recruit high-spirited members. BS Summit Business Cooperation Group.